

住まいを清潔でさわやかに

筑波大学附属小学校

実施学年：5年
児童数：160人（4学級）
実施教科：家庭科
実施時間数：8時間



学習のねらい

- 1 住まいや身近な環境に関心を持ち、進んで清潔にしたり、工夫して整えたりしようとする。
- 2 汚れの種類や材質に応じて住まいを清掃したり、生活しやすくなるよう整えたりできる。
- 3 汚れや場所に応じた清掃の仕方や、合理的な整理・整頓の仕方が分かる。

学習活動

- 1 日頃の掃除や整理・整頓を振り返り、問題点を話し合い、自分の課題をつかむ。
- 2 身の回りの物の「整理」を行い、工夫したことを発表し合う。
- 3 汚れ調べを行い、汚れの種類や汚れやすい場所をつかみ、効果的な掃除方法を調べる。
- 4 雨樋をスケッチし、校舎の外回りに関心を持つ。また、校舎周りの汚れ調べをする。
- 5 自分がきれいにしたい場所を決め、環境に配慮した掃除方法で清掃を試みる。
- 6 学校で学んだことを基に、家庭でも実践し、レポートにまとめる。
- 7 家庭実践の発表会を行う。

準備品

校内地図
雑巾（人数分）掃除用具
環境にやさしい掃除方法等の資料
デジタルカメラ（各班にひとつ）

実施場所

家庭科室
教室
校内各所

学習の流れ

場所・授業数	概要	活動の様子	反応
<p>家庭科室</p> <p>1 時間</p>	<p>気持ちのよい住まい方ができているか振り返ろう</p> <p>1 掃除や整理・整頓の好きな点、嫌いな点、困っていることなど現状を話し合う。</p> <p>2 掃除や整理・整頓についての問題点や原因、願いを話し合い、学習計画を立てる。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●掃除や整理・整頓が嫌いな子が圧倒的。めんどろ、疲れると言う。 ●学習目標は、「楽しくて楽でエコな掃除」に決まった。
<p>教室</p> <p>1 時間</p>	<p>整理・整とんから始めよう</p> <p>1 各自の道具箱の整理・整頓を行う。</p> <p>2 工夫した点を発表し合う。</p> <p>3 合理的な整理・整頓の仕方をまとめる。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●整理→掃除→整頓の順に学習することにした。 ●道具箱など身の回りの物を「整理」する。 ●しきりを使うと片付くなど工夫を発表し合う。 ●「整理」とは、「いる物だけにすること」と知る。
<p>家庭科室</p> <p>2 時間</p>	<p>掃除マイスターになろう</p> <p>1 教室の汚れ探検をして、その結果をワークシートにまとめる。</p> <p>2 汚れの内容や付き方などで汚れを分類し、汚れに応じた落とし方や、合理的なそうじの仕方を知る。</p> <p>3 班ごとに実際に掃除を行い、雑巾の使い方等を習得する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●セロテープを使った「汚れ調べ」に皆、熱中。目に付かない、風のたまる所に汚れが多いことを発見。 ●雑巾の使い方4つの技を楽しく学ぶ。
<p>校舎外回り</p> <p>1 時間</p>	<p>校舎の外回りも調べてみよう</p> <p>1 校舎の外回りを観察して、雨どいの付き方を簡単にスケッチする。</p> <p>2 校舎の雨水の行方を調べる。</p> <p>3 掃除や点検が必要な場所を調べる。</p>	 	<ul style="list-style-type: none"> ●「住まいは、中がきれいなだけでいいのかな？」と教師に聞かれて、初めて住まいの外回りのことに気付く。 ●校舎の雨樋をスケッチしてみる。「屋根やベランダの雨って、雨樋を伝わって、排水溝に流れ込んでいたんだ！初めて知った！！」。外回り探検は、楽しかったと言う。

場所・授業数	概要	活動の様子	反応
<p>校内各所</p> <p>2 時間</p>	<p>いざ！よごれ退治大作戦！</p> <p>1 自分の課題にそって、掃除したい場所を決め、場所や汚れに合った掃除の仕方を調べて、実践する。(家庭学習も含む)</p> <p>2 実践の様子を一枚レポートにまとめる。(家庭学習で仕上げる)</p>	 <p>写真1</p>  <p>写真2</p>	<p>●掃除は、場所によって汚れの種類も汚れ方も違う。</p> <p>そこで、課題別グループになって、「楽しくて楽でエコな掃除」に取り組むことになった。</p> <p>●写真1の児童らは、台所の流し掃除を選択。重曹や古ストッキングを使った掃除方法を試していた。</p> <p>●写真2の児童は、トイレの流しの掃除にチャレンジ。「きれいになったし、そばを通る先生にも誉められた！」とご機嫌。</p>
<p>家庭科室</p> <p>1 時間</p>	<p>わが家のビフォア・アフター発表会</p> <p>1 わが家のビフォア・アフター作戦を実践し、発表する。</p> <p>2 友達の発表から学んだことを発表し合う。</p> <p>3 「住まいの最大のメンテナンスは、掃除だ」という言葉を紹介し、その意味を話し合う。</p>	 	<p>●「整頓」とは、「きれいになったところを維持すること」と学ぶ。それには、家族の協力も必要だ。そこで、学校で学んだ方法を基に、各自が家庭でも実践してくることになった。</p> <p>●「わが家のビフォア・アフター作戦」を発表し合う。</p> <p>●最後に「清掃は、住まいの最大のメンテナンス」という言葉の意味を皆で考え、学習をまとめた。</p>

児童の作品



＜児童の感想＞いつも使う玄関は、あまりきたないように見えなくても、実はよごれがかくれている、気付いていなかったりと意外とよごれていたのです。こまめにそうじしようと思います。そして今回、一番感動したことは、今までなかなか落ちなかったかべのよごれが、かなり落ちたことです。お母さんがすごくほめてくれてうれしかったです。今度からは玄関以外の家の中も、そうじしていきたいと思っています。



家庭実践レポート集

先生の声

実施に当たり工夫した点 苦労した点

- 児童の実態を十分掘り上げ、思いや願いに基づく学習指導計画を立てた。
- 掃除は、モチベーションが上がりにくい。そこで、「なぜ嫌いなのか」→「どうだったらやる気になるのか」と考えさせ、「楽しくて楽でエコ」な掃除を「創造する」ことを学習目標に掲げて、学習の動機付けを図った。
- 第6・7時の清掃の学習では、デジカメを各グループに持たせて、掃除前・後の写真を撮らせ、後にレポートにまとめる際に貼付できるようにさせた。
- 校舎の外回りをよく観察させるために、雨樋に注目させ、どう付いているか予想を立てさせてから外に出し、興味を持って校舎を観察できるようにした。
- 「わが家のビフォー・アフター作戦！」を実施前に、保護者におたよりを出して、学習の趣旨等を説明しておき、可能な場合は写真もと、依頼しておいた。
- 子どもたちの実践記録を本にまとめ、他学年の児童が閲覧できるようにした。

児童・生徒の反応

- 初めは、「えーっ！掃除の勉強。やだな～」と不満顔だった。しかし、道具箱の整理が始まると、皆夢中になり、工夫をこらして作業していた。そして、仕切りを作る、よく使う物を手前に置くなど、たくさんの気付きや工夫を発表していた。
- 「楽しくて楽でエコな掃除」では、課題別グループで、とても楽しそうに活動していた。掃除をしていると、たくさんの先生が通りがかりに誉めてくれたらしく、皆上機嫌で家庭科室に帰ってきた。モチベーションがさらに上がったようだった。
- 家庭実践についても、学校で試したことを基に大変よく取り組んでいた。事前におたよりで保護者に協力を呼びかけていたので、どの家庭も学習に協力的だった。「また、やってください」という親からのリクエストもあった。
- 家庭実践の発表会では、家庭でのさまざまな工夫や気付きが発表された。最後に、「住まいの最大のメンテナンスは掃除だ」というメンテナンス業者の方の言葉を伝え、その意味について話し合った。

教師の変化

- 子どもがこんなに清掃の学習に夢中になるのかと感動した。
- 子どもたちが、学習を通して多くのことに気付くのを目の当たりにして、「住まいの最大のメンテナンスは掃除だ」という言葉が、肌で実感できた。